



2022年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社セラク  
代表者名 代表取締役社長 宮崎 龍己  
(コード番号：6199 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役執行役員  
経営管理本部長 小関 智春  
(TEL. 03-3227-2321)

## 2022年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年7月14日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年10月15日に公表しました2022年8月期(2021年9月1日から2022年8月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想の修正について

#### (1) 2022年8月期通期連結業績予想の修正(2021年9月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,000	1,550	1,900	1,250	89.91
今回修正予想(B)	17,800	860	1,400	910	65.33
増減額(B-A)	△ 1,200	△ 690	△ 500	△ 340	
増減率(%)	△ 6.3	△ 44.5	△ 26.3	△ 27.2	
(ご参考)前期実績 (2021年8月期)	15,263	1,356	1,836	1,240	89.82

#### (2) 連結業績予想修正の理由

当社は、2022年6月8日に「2022年8月期採用計画の変更に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当第4四半期においても採用を強化する計画に変更いたしました。このことにより、当初計画(純増459名)に対し採用数を増加させ、エンジニアの純増が通期で649名となる見込みになりました。これに伴う採用コストの増加、初期研修期間中の待機期間・コストの増加などの影響で各利益が減少する結果となりました。

また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から経済が回復基調となる中、社会におけるIT人材の流動性が高まり退職者数が増加したこと、ソリューション型サービス(請負)において計画が未達となったことも重なり、売上高、各利益とも前予想を下回る見通しです。

## 2. 今後の事業取組

当社としましては、今後の成長について、営業体制の拡大と強化により継続的な成長を実現するとともにエンジニアの離職対策を進めていくこととし、具体的には以下の3点に対して重点的に取り組んでまいります。

- ① IT人材の採用が困難な状況下においても当社は計画以上の採用を実現できており、当期は過去最高のエンジニア数増加となります。この採用により来期の売上成長基盤を早期に構築いたします。
- ② 継続して行っているDXシフトへの取り組みにより、エンジニアの付加価値向上を図りつつ、長期的な活躍を支える人事制度やキャリア支援施策の整備を行うことで、エンジニアの退職者数減少に取り組めます。
- ③ 2023年8月期第1四半期までに、現状に対し30%以上営業人員を増やして営業体制の拡大を図ることで、既存顧客との更なる取引拡大に加え、約600社ある現在の取引先と似た特性を持つ見込み顧客に対しても営業活動を行うことで取引先の拡大に取り組めます。

## 3. 期末配当予想について

今般、当社は業績予想を下方修正することとなりましたが、「2022年8月期採用計画の変更に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社の計画変更を主な要因としたものであることから、2022年8月期の期末配当予想の変更はございません。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。